

ロボット田植機 実演会

生産性向上

キレイでムダの無い
高速植付で匠級の
仕上がり！

人材不足 解消

自動整地で、省人化、
高精度植付をサポート！



アグリロボ田植機
(NW8SA)

コスト削減

資材のムダを抑制し
低コスト農業へ！

人手不足への対応や作業効率の向上、省力化など、様々な効果が期待できる「スマート農業」。地域農業の持続的発展にはその普及が欠かせません。

今回は、精密な作業が求められる田植えを自動で行える「ロボット田植機」をご紹介します。「ロボット田植機」により実現できるベテラン並みの作業、省人化、作業効率向上の効果をぜひご体感ください。

開催日時

2022. **5.17** (火) 10:00～12:00
※荒天時は翌日に延期

会場

(株) グリーンパワー長浜
(長浜市新栄町 913)

内容

ロボット田植え機（クボタ社製アグリロボ田植機
「NW8SA」）の実演、省力化の説明を行います！

参加費

無料

定員

50 名

- ※ 事前申込制です。裏面の参加申込書でお申し込みください。
- ※ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、マスク着用にご協力ください。
- ※ 新型コロナウイルス感染症の影響により中止する場合があります。

主催 / 長浜市・JA レーク伊吹・JA 北びわこ 協力 / (株) グリーンパワー長浜・JA 全農しが・クボタアグリサービス (株)

お問合せ先 / 一般社団法人バイオビジネス創出研究会 TEL : 0749-65-8808 FAX : 0749-65-8858 MAIL : info@biobiz.jp

※ 当研究会は本年度、長浜市よりスマート農業の普及・実装に向けた標記実演会の開催を受託しています。

クボタ アグリロボ田植機（NW8SA）の自動運転機能

監視者がほ場周辺にいる状態で、旋回も含めて自動で田植え作業を行う機能です。最初にほ場の最外周を有人で走行してほ場マップを生成します。その後、ほ場マップに従って田植機が走行経路を自動計算、無人で田植え作業を行います。

一般的に田植えは、田植機のオペレータと苗補給などを担当する補助者がペアとなって作業しますが、田植機の運転を自動化することで省人化や、作業効率の向上を図ることができます。



会場アクセス



グリーンパワー長浜 (長浜市新栄町 913)

▶ JA レーク伊吹長浜北部
米麦荷受センターの西隣です。

①または②の方法でお申し込みください

参加申込み 方法

- ① 参加申込書を所属の JA（JA レーク伊吹 または JA 北びわこ）の TAC・営農経済渉外（JA レーク伊吹のみ）へお渡しください。
- ② 参加申込書をバイオビジネス創出研究会へ FAX または MAIL でお送りください。FAX : 0749-65-8858 / MAIL : info@biobiz.jp

【参加申込書】

申込み締切 **5/10 (火)** ※ 参加申込書をご記入いただき、上記いずれかの方法でお申し込みください。

代表者 お名前	参加人数	名
所 属（法人・団体名）		
住 所（〒 - ）		
TEL	E-mail	

※ご記入いただいた個人情報は、当日のイベント参加の確認、主催者からの各種催し物のご案内など情報の提供や催し物等に参加いただいた方の調査分析にのみ使用いたします。